

今日も「丁あがり」

第45話

畑に曇りない真っ直ぐな線を引け！の巻



皆さん、こんにちは！「あなた来年すごく良い年になるわよ」とランチで入った山あいのカフェで占いができるといふママからお告げを受けたロブストス高垣でございます。さて、近年流行しているサブスクリプション（定額制）サービス。世間では音楽配信から洋服や家具まであらゆるサービスがサブスク化していますが、皆さんは何か利用されていますか？僕は「saketaku」という毎月末にプロが厳選した各地の日本酒とおつまみが送られてくるサービスを5月から利用し始めました。毎日フルオーダーメイド

で仕事をしている僕は、「毎月定額でお金をもらおうなんてチャライ！」とサブスク自体を良く思っていなかったのですが、saketakuのホームページを覗いてみたら「知られざる希少な銘酒の存在と日本酒の楽しみ方を広め日本酒業界を盛り上げたい」という

運営者の曇りない想いが随所から伝わってきました。どの売り手より製造現場を知り、どの造り手よりも飲み手を理解したいと、現場主義で自らコメ作りから酒造りまでしていて熱いんです。きつとお金じゃない何か突き動かされた大馬鹿者に違いない！僕は彼らのチャレンジを応援したいと感じて自然と申し込んでいました。共感にお金を使う時代と言われますが、現代社会のライフスタイルやツールを活かして想いとサービスを純化させ、共感を集めた人が業界を変えていく

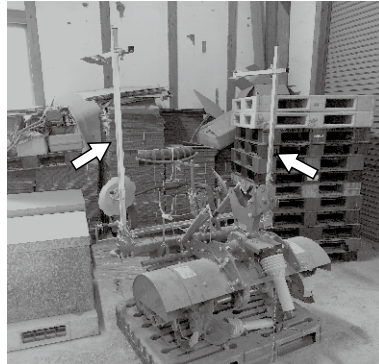


写真1：ネジを4つ締めるだけで装着可能なバナネ式ロブストスマーカー。電動式や油圧式も企画中！



写真2：就農1年目の女性社員さんがトウモロコシ畑をキレイに畝立て！



写真3：ベテラン社員さんが前だけ見ながらピンっと畝立て！水田転作圃場がタマネギ畑に！



写真4：3年間サトイモ畑で蛇行を繰り返していた社員さんが4年目に決意の畝立て！大成功！！

コストを抑えて作業を速く正確に

今年も野菜の植え付けシーズン真っ只中。2年前に圃場条件の違いに試行錯誤していたマーカーですが、十分に喜んでもらえるレベルにまで作り込み、いまや口コミで売れるようになりました。とくに畑のマール作業では抜群に効果を発揮します。ほんの数分で取り付けできて、

今年も野菜の植え付けシーズン真っ只中。2年前に圃場条件の違いに試行錯誤していたマーカーですが、十分に喜んでもらえるレベルにまで作り込み、いまや口コミで売れるようになりました。とくに畑のマール作業では抜群に効果を発揮します。ほんの数分で取り付けできて、



高垣達郎（たかがき・たつろう）
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロブストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリ受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロブストス代表取締役社長。

就農1年目の農家さんでも真っ直ぐ等間隔に畝を立てられます。水田転作の圃場でも麦の残渣が残る圃場でもピシッと線を引けるようタフに仕上げました。そしてもちろん公道を走る時は邪魔にならないようワンタッチで収納可能に。いまのところ農家さんからは「最高です！」の声以外聞こえてきません（笑）。効率を上げるのは高価な機械の導入やロボット化だけでなく、「ちよつとしたアイテム」が農作業を「速く・正確に」変える余地はたくさんあります。僕にsaketakuの姿勢が響いたように、ロブストスが作ったものだからこそ欲しいと思ってもらえるくらい農家さんの心に響く仕事を、明日も現場主義で続けていきます。ということで、月末に届いた大分県国東市と岡山県浅口市のお酒と富山県射水市のおつまみをいただきましたよ。今月も「丁あがり」です。